

奈良県中央卸売市場運営協議会の概要

■開催日時 平成30年5月17日（木） 午前10時30分～午前11時50分

■場 所 奈良県中央卸売市場管理棟3階大会議室

■出席委員 14名（順不同）
浦出委員、今井委員、松尾委員、川口委員、山下委員、山口委員、
鈴木委員、川井委員、松村委員、西川委員、吉田委員、川西委員、
高谷委員、中島委員

■欠席委員 4名（順不同）
上田委員、楳田委員、熊田委員、西谷委員

■主な議題 奈良県中央卸売市場の再整備基本構想について

■議題に関する出席委員からの意見の概要

- 県内の青果の集荷力確保の方法について、今後、具体的に検討していくべき。
- 奈良県はまだまだ戦えるマーケットであり、県産農産物が伸びる余地はある。ポイントはおいしさと鮮度。
- JAとしての農産物の強化が必要。
- 県は道の駅等の市場外流通に係る施策も推進している。市場再整備の推進と相反していると思われるが、その点に関して整理をして説明を行うべき。
- 県は、市場の再整備について最大限尽力して欲しい。
- 「おいしい野菜の選び方」等を学べる拠点としても整備して欲しい。
- 市場の機能や役割等、市場の位置づけに関する説明が不足している。再整備基本計画で明確にするべき。
- B to Cに生産者と消費者を取り持つ機能があればよいのではないか。また、道の駅等との差別化が必要である。
- 戦略に環境対策の強化を掲げているが、エネルギー問題だけでなく、場内廃棄物のリサイクルや適正処理の問題への取組内容も基本計画に具体的に盛り込む必要がある。
- 今後も、県議会議員だけでなく、運営協議会委員の意見を聴く場を頻繁に設けて欲しい。
- 生産者の市場離れがあるが直売所も飽和状態。施設の改修とあわせて、県産農産物の集荷やブランド力の強化など、生産者にとって魅力のある市場づくりをお願いしたい。
- PFIで実施するかどうかについて、随時、情報提供をお願いする。